

11月に第2回読書会としてビブリオバトルが行われました。図書委員を中心にたくさんの生徒が参加し、有意義な時間を過ごしました。今月もチャンプ本に選ばれた本と、読書会に参加した生徒の感想を紹介します。



1年2組 宮本真衣さん のおすすめの本

『鹿の王1』 上橋 菜穂子著

この本は、黒狼熱にかかったのに死ななかったヴァンと黒狼熱を治すための薬を作ろうとする医者ホッサルの話です。主人公が自分を信じて一步一步前へ進んでいくところが私は好きです。2人がこの先どうなるのかに注目して読んでみてください。



私はいつも冒険をする物語か、ミステリー系の本しか読みません。しかし、今回いろいろな人の話を聞いて、別の分野の本も読んでみたいと思いました。他の人のおすすめの本の話を知るのとはとても楽しかったし、会話もはずみました。これからもたくさん本を読んでいきたいです。他に『精霊の守り人』もおすすめです。

1年7組 檜垣杏佳さん のおすすめの本

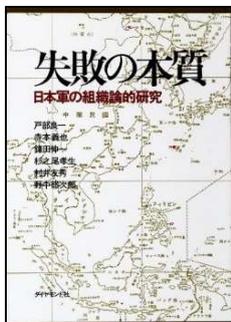
『厨病激発ボーイ』 藤並 みなと著

自分がヒーローだと思っている人たちがヒーロー部を作って、その街の事件を解決していくところが、読んでいて楽しいところだと思います。厨病をこじらせて、いろんな事件を起こしてしまうところも面白いと思います。



他の人は、私の知らない本を読んでいて、とても興味がわきました。私は同じような種類の本しか読まないで種類が違うものも買って読みたいと思いました。

他に『ソードアート・オンライン』『Re:ゼロから始める異世界生活』もおすすめです。



1年4組 長尾起条さん のおすすめの本

『失敗の本質』(日本軍の組織論的研究)

戸部良一、寺本良成 他著

この本は、太平洋戦争で旧日本軍が敗れた要因を、組織論の観点から分析したものです。「ノモンハン事件」や「ミッドウェー海戦」などの実際の戦いを分析し、現在の組織にも通じる旧日本軍の失敗の原因を抽出する過程がとても興味深いです。

ビブリオバトルを開催したことはあるのですが、実際に自分が参加したのは初めてでした。やってみて分かったのは、一生懸命自分の「面白い」を伝えようとしている姿を見ていると、本当にその本を読んでみたくなるということです。

“読まず嫌い”をやめて、いろんな本を読みたいと感じた楽しい体験でした。

